



週報Rotary



所沢西ロータリークラブ

RI 第2570地区第3グループ

会長 内田 学
幹事 高橋 和男

会長エレクト 堀江 大

クラブ管理運営委員長 本橋 源太郎

例会場 〒359-1127 所沢市星の宮1-3-5 ベルヴィザ グラン TEL 04-2923-4122
事務局 〒359-1143 所沢市宮本町2-22-25 角田ビル3F TEL 04-2926-1666
例会日 毎週火曜日 (PM12:30~13:30) FAX 04-2926-5151
E-mail nishirc@dream.ocn.ne.jp <http://www.tokorozawa-nishirc.net/>

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

1. 点鐘…会長 2. 斉唱…ロータリーソング 3. 来賓紹介 4. 会長、幹事報告 5. 委員会報告

第 1455 回例会 2016・10・4

卓 話	例会当番	記念祝福
10/4「地球温暖化と私たちの暮らし」生涯学習推進センター 主査：増田 弥生様 主任：向井 達哉様 10/11 例会取消し	吉田 栄治	10月会員誕生 小久保 昇 鈴木 伴忠 和記 毅

■出席報告	
月 日	9/27
会員数	27
出席者	22
出席率	81.5%
前回修正	81.5%

パスト会長の時間 須澤 一男



先々週は 5 クラブ合同のガバナー公式訪問に西クラブの会員の皆様ご出席下さいまして有難うございました。内田会長が病の為、各パスト会長が病気が治るまで1ヶ月交代にやることになり、9月は私が会長代行ということになり、今日が最後の会長代行になり、16年前会長をやっていた時を懐かしく思い出されました。

今日は最後の会長代行に相応しく会場も新しくリニューアルした会場で、又良い思い出になりました。

会長は皆様会員の1人ひとりが協力して頂かな

ければ出来ません。これからもみなさまの御協力をお願い致しまして会長の時間と致します。

幹事報告 高橋 和男

✿ガバナー 前島 修身様から公式訪問の御礼状を頂きました。

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

先日は所沢西 RC の会員の皆様にはご多忙のところ公式訪問例会を開いていただき、またご丁重なる歓迎をお受けし、心より感謝申し上げます。

ガバナーエレクトに任じられて半年の準備で、7月のガバナー年度を迎えることになりました。

本年度は、今年4月の規定審議会の決定事項に先ず振り返られました。公式訪問例会ではジョン・ジャーム RI 会長のテーマ「人類に奉仕するロータリー」と、地区テーマ「知恵と元気を」について、しっかり会員の皆様にお伝えしたい思いで卓話をしてまいりました。

結びに、所沢西 RC のますますのご発展と会員の

皆様のご健勝を祈念致します。

敬具

❖規定審議会決定事項に伴う定款・細則の見直しについて

❖2016~2017 年度地区大会のパンフレットを頂きました。

大会第1日目 11月5日(土)

ホテルガーデンパレス

大会第2日目 11月6日(日) 熊谷文化創造館・さくらめいと

❖「第3回 オリエンテーション」開催

10月9日(日) 点鐘:14時00分

国立女性教育会館

❖さきたま古墳研修セミナー 10月21日(金)

10:00~ 登録受付 さきたま古墳公園

❖ロータリー財団 100周年記念シンポジウム開催案内

11月27日(日) 13:00 登録開始

JPタワー・KITTE 4階

❖ハイライトよねやま 198号

❖11月ロータリー財団月間卓話者派遣依頼申込書

❖青少年派遣交換学生の「月次報告書」8月分

❖所沢東RCより 青少年交換留学生協力をお願い協力金として¥3,000円X会員人数分 当クラブは 81,000円 本日振り込みます。

❖例会変更・・・入間南RC、所沢RC、新所沢C、所沢中央RC

❖週報・・・飯能RC、入間RC、入間南RC、新狭山RC、狭山中央RC、所沢RC、新所沢RC、所沢東RC

ニコニコボックス

石井 實

須澤 一男 今日はお忙しいところ今泉さん 卓話に来ていただき有難うございました。図録の冊子を作った時 お互い良く頑張りました。

室伏 秀樹 卓話 今泉主査様よろしく。見学の宮崎さん、是非入会して下さい。

石井 秀夫 生涯学習推進センター 主査今泉 由紀子様 本日は有難うございます。どうぞ宜しくお願い致します。

本橋源太郎 今泉先生今日は宜しくお願いします。

P.S 前回欠席

堀江 大 連続で休みました。脾臓が2/3に薄くなりましたが元気になりました。

中 毅志 お久しぶりです。久々の例会楽しみにしています。宜しくお願いします。

大館 信夫 前回、前々回欠席しました。

ロータリー財団へ御寄附頂きました。ご協力有難うございます。



本橋 源太郎さん ♪♪ 須澤 一男会長代行

卓話 「ふるさと所沢早わかり」

生涯学習推進センター ふるさと研究グループ

主査 今泉 由紀子様



この度は、所沢市出前講座「ふるさと所沢早わかり」をご依頼いただきまして、ありがとうございます。ロータリークラブの皆様は所沢に長くお住まい、あるいは生まれも育ちも所沢という方が多くいらっしゃるのではと思いましたが、このようなお話はすでにご存じかとは思いましたが、わたくしの知っている範囲のことをお話しさせていただきます。まず初めに、わたくしどものご紹介をさせていた

だきます。所沢市教育委員会の、生涯学習推進センターふるさと研究グループという部署でして、所沢の自然・歴史・民俗・文化・産業などについて、研究をし、資料を保存し、展示や講座などでご紹介しております。こう言うと難しくお感じになるかもしれませんが、他市町村で言うところの博物館の仕事を…博物館の建物はございませんが、そういった業務は必要だということで行っているところです。



ところで…、皆さんはこのコはご存知です

よね？そう、トコロんです。所沢市のマスコットキャラクターとして、市制施行 60 周年記念事業の一環として誕生しました。モデルは市の鳥

「ヒバリ」、頭についているのはプロペラ…航空発祥の地に因んで。スカーフが緑色なのは…お茶の産地だからだそうです。好物はうどん、焼き団子。今挙げた単語が、これから出てくると思います。

さて、所沢の歴史や文化を考えるに当たっては、まず、地形が大きな影響を及ぼしていますので、そのお話から始めたいと思います。

●地形

所沢市はご存知のように三角形のような形をしていて、西側に狭山丘陵という小高い場所があります。それ以外は比較的平らな所で、北東方向へとわずかに傾斜しています。川は何本か、狭山丘陵などを水源にして北東へと流れています。が、例えば入間市や川越市のような、広い河原を持つような大きな川はございません。また、「砂川」などは、下流の方では冬には水が無くなってしまいうこともあったようです。川がそばに無い地域はもっと大変でした。かつては「所沢の火事は砂で消す」などと言われる程、水は不便な場所だったようです。

●古代

人々が暮らした遺跡は、川のそばで見つかります。その中でも有名な遺跡は、砂川遺跡と東の上

(あずまのうえ) 遺跡です。

砂川遺跡を発見した方は三ヶ島の方で、考古学の本を読みあちこちで石器を探していた結果、ついに見つけた場所はなんと自分の畑だった、というお話が残っています。東の上遺跡からは、奈良～平安時代に使われた、幅 12 メートルの道路跡が見つかりました。この道で当時の都…現在の奈良や京都とつながっていました。

●中世

市内で有名なのはなんといっても鎌倉街道でしょう。各地に何本も存在しますが、市内では、現在の旧町を南北に通る道が有名です。ロータリークラブ様でも看板を立ててくださっていて、大変ありがたいと思っております。

●近世

地形のところでお話ししたとおり、所沢は一部を除いて水の便が悪かったため、川が近くに無いような場所には人も住んでいませんでした。そのような場所を、幕府や藩などは年貢を増やすために開発し始めます。「新田」と呼ばれますが、田んぼではなく畑です。江戸時代の間は何回か行われたものの、それでもやはり生活は大変で、逃げ出す人も多かったそうです。

また、中世までは南北の道が重要でしたが、江戸時代になると、江戸へ向かう道が必要となり、東西の道（現在の銀座通り）がメインストリートになってゆきます。元々の南北道（鎌倉街道）との交差点から、賑わいは徐々に東へと広がります。

江戸時代の後期には、周辺で作られた“所沢織物”など取引の中心地となり、ますます栄えてゆきました。

●近代

明治時代となり、大きな出来事としては、まず鉄道の開通が挙げられます。明治 28 年に川越鉄道（国分寺～川越）が通り、所沢駅が開業しました。大正 4 年には、現在の池袋線の前身である武蔵野鉄道が開通します。またしても所沢は“交差点のマチ”となります。

“所沢の不思議”として時々テレビ等で取り上げられる、“新宿は南なのに池袋は北”…これは、南

北の川越鉄道に対し、あとから通った武蔵野鉄道が駅での立体交差を避けたため、駅の前で大きく迂回してあのように入れざるを得なかったそうです。

次の大きな出来事は、なんとといっても、明治 44 年に日本で初めての飛行場ができたことです。日本における初飛行はその前年、代々木練兵場だったようですが、この飛行場ができたことで、所沢のマチは更に賑わうようになりました。

その反面、「軍都」となったことで戦時中は度々空襲の被害も受けています。

●現代

終戦を迎えると、所沢飛行場は米軍に接收され、在日米軍基地となりました。敷地の一部やその周辺、また市内各地でも、様々なところからいらっしゃった方によって開拓が行われました。しかしその頃も、やはり水の便では苦労したりと大変だったそうです。

昭和 34 年、それまで雑木林や畑だった新所沢に広大な団地が完成し、入居が開始されました。新所沢ではこの時初めて、上水道・下水道・ガスなども整備されました。この頃から、所沢市は首都圏のベッドタウンと呼ばれる程、多くの人々が住む街に変わってゆきます。今まで何千年も人がなかなか住めなかった地域が、インフラが整備されるにつれ、多くの人々が住める地域になったのです。

言い換えれば、大きな川が無いので住みにくかった地域は、水道が整備されることにより、水を得られて水害の危険は少ないという、非常に住みやすい場所になったのです。

ただ、水害といえば、先日の台風では市内が何十年ぶりという水害に見舞われました。水の便が良い場所は、水害の危険があるということと背中合わせでもあります。

●民俗

所沢の郷土食も、先ほどの地形が大きく関係しています。

手打ちうどん…材料は小麦ですね。田んぼが少なかった所沢において、畑で作ることができる穀物です。

ゆでまんじゅう…わたくしは「うでまんじゅう」と教わりました。こちらも小麦で作り、餡を入れて茹でます。冷めると硬くなるので、翌日は七輪で焼いて醤油をつけて食べるのだと教わった時には「餡に醤油？」とカルチャーショックを受けました。

焼き団子…麦と同じように畑で作るコメが陸稲（おかぼ）です。召しあがったことのある方もおられるようですね。水稻と違い、冷めるとボソボソと食べにくいものさそうで、そのため、農家では焼き団子をつくりおやつに食べたそうです。

そのほか、産業としてはお茶が有名です。元々は、畑の境界に植えて自家用のお茶を作っていたところから始まったようです。

ところで、資料の 9 ページに戻ります。日本で初めての飛行場ができて、所沢の中心地“マチ場”は大きく栄えました。それ以降のさきほどお話したことは、所沢市史などにも掲載されている歴史です。実は、マチ場の繁栄による人々の地道な暮らしや、戦後の米軍との関わりに関する史実が、市史刊行後に少しずつ明らかになってきました。

昭和 40 年代に、米軍関係の方たちと交流しようと始まった「日米婦人大学」という事業がございました。それを立ち上げたのは、当時の所沢ロータリークラブ会長であられた渡辺様という方でした。ちょうど今、当センターでこのようなお話を紹介する企画展を開催しておりますので、もしよろしかったらぜひご覧ください。

今回のこの出前講座のお話をいただいた頃に渡辺様のご実績を知り、また、この企画展を紹介する図録を、現在の会長代理・須澤様に作っていただきまして、今まで遠い存在と思っておりましたロータリークラブ様とのご縁を感じました。どうぞ今後ともよろしく願いいたします。

これでわたくしの拙い話を終わらせていただきます。